

(1)令和2年7月

社会福祉法人 深川市社会福祉協議会 広報誌

ふかがわ社協だより

第126号

編集 深川市社会福祉協議会事務局

令和2年7月発行 社会福祉法人 深川市社会福祉協議会 電話26-2411

[ボランティア通信]

「除雪ボランティア」ありがとうございました！



令和最初の冬は、例年と比較して降雪量の少ないシーズンでした。そんな中でも、除雪作業が困難な高齢者宅などを「除雪ボランティア」として、『JAきたそらち青年部イチヤン支部』（写真上）と、『天龍HINOKI-SHIN（ひのきしん）倶楽部』（写真下）の二団体が活動しました。ありがとうございました。

社協だよりは、「赤い羽根共同募金」の配分金により発行しています。

令和元年度 事業報告 及び 決算報告

1. 事業報告

地域福祉活動の中核的役割を担う本会は、住民や地域の福祉ニーズに応える事業推進を図り、深川市などに地域福祉活動の現状や役割の重要性を伝える「橋渡し役」を担うと共に、住民が生き生きと参加できる福祉のまちづくりを目指して事業推進を図りました。具体的には、今後の地域のあり方を考え推進する『生活支援コーディネーター』を配置し、地域において住民主体で行っている支え合い活動を「お宝」と称し、住民との意見交換の中から「お宝」を発見するなどの事業の更なる展開を図りました。また、介護・福祉サービス事業では、介護支援専門員を1名増員し体制整備を図ると共に、利用者に寄り添うサービス提供を目指し、介護支援専門員・訪問介護員の積極的な研修会等への参加や内部研修の充実によるスキルアップを図りました。

2. 決算報告

単年度の「収支差額（収入から支出を引いた額）」でプラスの収益結果になったことから、今後の法人経営に必要な積立を行うことができました。これは、厳しい財政状況を踏まえて平成29年度より取り組んでまいりました「財政の安定化への方策」を中心に経営改善を進めたことにより、一定程度の成果が得られたものと考えます。しかし、経営状況が安定したものになったと判断できるものではないため、会計事務所など専門家のアドバイスを活用しながら、これまで以上に経営感覚を備えた運営を行います。

3. 決算状況

《資金収支計算書》

【収入】合計(小計①+③+⑤)129,457,370円		事業活動による収支	【支出】合計(小計②+④+⑥)129,412,145円	
科 目	決算額(円)		科 目	決算額(円)
1.会費収入	2,185,950		1.人件費支出	97,303,308
2.寄付金収入	3,012,760		2.事業費支出	14,630,277
3.経常経費補助金収入	19,896,997		3.事務費支出	2,838,857
4.受託金収入	38,932,379		4.助成金支出	6,227,425
5.介護保険事業収入	54,497,555		5.負担金支出	540,500
6.障害福祉サービス等事業収入	10,823,690			
7.受取利息配当金収入	7,230			
8.その他の収入	70,809			
小 計 ①	129,427,370	施設整備等による収支	小 計 ②	121,540,367
1.施設整備等補助金収入	0		1.固定資産取得支出	167,400
		その他活動による収支	2.ファイナンス・リース債務の返済支出	757,200
小 計 ③	0		小 計 ④	924,600
1.長期貸付金回収収入	30,000		1.長期貸付金支出	30,000
2.積立資産取崩収入	0		2.積立資産支出	6,917,178
小 計 ⑤	30,000		小 計 ⑥	6,947,178
○ 当期資金収支差額合計 45,225円			○ 前期末支払資金残高 29,963,690円	
			○ 当期末支払資金残高 30,008,915円	

【貸借対照表】

【資産の部】合計(小計①)102,351,245円			【負債及び純資産の部】合計(小計②+③)102,351,245円		
科 目	決算額(円)	資 産	負 債	科 目	決算額(円)
1.流動資産	37,420,013			1.流動負債	11,014,248
2.固定資産	64,931,232			2.固定負債	28,990,803
小 計 ①	102,351,245			小 計 ②	40,005,051
				1.基本金	1,000,000
		2.国庫補助金等特別積立金	212,193		
		3.その他の積立金	34,242,760		
		4.次期繰越活動増減差額	26,891,241		
		小 計 ③	62,346,194		

令和2年度 事業計画 及び 予算

1. 事業方針

若い世代の人口流出も一層進行し、高齢化率が40%を超えるマチとなった本市において、一人暮らしや高齢夫婦世帯など高齢者のみで生活する世帯が増えております。その中で高齢者が「住み慣れた地域で末永く」継続し生活していくためには、家族以外の手助けを必要とする場面が増えております。そうした現状を踏まえて、近隣住民の皆さんが行う「地域福祉活動」の充実が求められ、またその活動を支える支援体制も必要となっています。そこで本会は、「地域福祉活動」の中核的役割を担う団体として、一人ひとりの住民や地域の福祉ニーズに応える事業推進を図るとともに、行政に「地域福祉活動」の現状や役割の重要性を伝える「橋渡し役」を担い、住民が生き生きと参加できる「福祉のまちづくり」を目指してまいります。一方、福祉サービス事業では、利用者に寄り添うより良いサービスの提供を目指し、職員のスキルアップに努めてまいります。そして、本会が地域住民の皆さんに理解され、これからも必要とされる組織として、永続的に活動していくために、組織や事業の見直し・経営の効率化などを役職員一同で検討し具体的に展開してまいります。

2. 重点項目及び事業

- (1) 住民参加型地域福祉・在宅福祉活動の拡充・基盤づくり
- (2) 介護保険事業等の充実
- (3) ボランティア活動の推進
- (4) 法人経営状況の精査及び安定経営の確保
- (5) 総合福祉センター維持管理運営（指定管理者制度）

3. 予算

《資金収支計算書》

【収入】合計(小計①+③+⑤)=126,387,000円			【支出】合計(小計②+④+⑥)=131,463,000円	
科 目	予算額(円)		科 目	予算額(円)
1.会費収入	2,112,000	事業活動による収支	1.人件費支出	98,750,000
2.寄付金収入	3,000,000		2.事業費支出	20,149,000
3.経常経費補助金収入	20,172,000		3.事務費支出	4,513,000
4.受託金収入	39,710,000		4.助成金支出	6,095,000
5.介護保険事業収入	50,541,000		5.負担金支出	693,000
6.障害福祉サービス等事業収入	10,478,000			
7.受取利息配当金収入	8,000			
8.その他の収入	60,000			
小 計 ①	126,081,000		小 計 ②	130,200,000
1.施設整備等補助金収入	0	施設整備等による収支	1.固定資産取得支出	200,000
			2.ファイナンス・リース債務の返済支出	758,000
小 計 ③	0		小 計 ④	958,000
1.長期貸付金回収収入	300,000	その他活動による収支	1.長期貸付金支出	300,000
2.積立資産取崩収入	6,000		2.積立資産支出	5,000
小 計 ⑤	306,000		小 計 ⑥	305,000

今回掲載しました「令和元年度 事業報告及び決算報告」「令和2年度 事業計画及び予算」は、紙面の都合上、内容を抜粋して掲載しております。詳細については、本会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

* 深川市社会福祉協議会ホームページアドレス *

<http://www.shakyo.or.jp/hp/index.php?s=29>

特別会員・特別賛助会員・賛助会員の皆様 ご支援・ご協力ありがとうございます！

深川市社会福祉協議会では、事業推進に必要な資金造成のため「会員会費制度」を取り入れております。四・五ページでは、「特別会員」「特別賛助会員」「賛助会員」として登録して頂いている皆様をご紹介いたします。なお、令和元年度に会費を納入していただいている会員の皆様のみを掲載しております。また、会費納入時点の「名称」を用いておりますことをご了承下さい。

※「敬称略」「順不同」で掲載しておりますのでご了承ください。

【特別会員】

軽費老人ホーム ひいらぎ荘	社会福祉法人 北海道中央病院
特別養護老人ホーム 清祥園	北光保育園

【特別賛助会員】 年額一口 5,000円（各企業、団体等）

深川土地改良区	(株)ホッコン	税理士法人 小島会計
深川西町保育所	きたそらち農業協同組合	大谷種苗(株)
(有)佐野商会	深川商工会議所	(医)厚北会吉本病院
(株)三共ストアー	(株)倉本道新販売店	多度志認定こども園
中央運輸(株)	(有)旭クリーニング	道央開発(株)
たなか歯科医院	(株)笠松自動車整備工場	(株)清水モーター商会
北日本運輸(株)	天理教雨龍大教会	坪田電気(株)
富岡産業(株)	北空知信用金庫	旭物産(株)
中本土建(株)	(株)中島自動車	深川油脂工業(株)
空知ガス(株)	(株)宮本運輸	あかとき学園
(有)長谷部商事	光栄建設工業(株)	(有)マル安三上石材工業所
(株)ホクシン	寺岡工務(株)	(株)渡辺ふとん店
深川あけぼの保育園	松本印刷(株)	(株)丹羽商店
伊東歯科医院	わかば保育園	深川砂利工業(株)
プラザ富士屋	市民生協コープさっぽろ	新星ハイヤー(株)
(株)日の出会館	(株)セキ	音江ハイヤー(有)
上中精肉店	(株)深川ハイヤー	(有)向昌良商店
司法書士 北村幸雄	清水呉服店	(株)森栄建設
神竜土地改良区	日東石油(株)	ホッコン商事(株)
(株)丸太松井商店	(株)高橋商事	(株)深川自動車センター
(有)堀自動車整備工場	深川美装(株)	幌成簡易郵便局
多度志土地改良区	(株)しまの	(株)山一工業

(有)躍進産業運輸	臼杵商事(株)	メイコー堂時計眼鏡店
深川ホンダモーター(株)	協和ハウジング(株)	(有)カーフォルトミュー
(有)かねもり森田商店	杉村歯科医院	小野歯科医院
(株)ヤクルト北北海道	中澤歯科整形外科医院	ヒロノ(株)
音江中央保育園	小川組土建(株)	(株)ルーラルエンジニア
ネットトヨタ旭川(株)深川店	(有)タイヤサービスハヤシ	
(有)ウェルコーポレーション	北海道エナジティック(株)深川営業所	
會澤高圧コンクリート(株)深川工場	ベスト電器F C深川店(イナバ無線電機(株))	

【賛助会員】 年額一口 2,000円(個人)

谷口 保	横山 一雄	小森 寮子	五十嵐カヅエ	平 通明	亀上 典克
西村スズ子	臼杵 義光	安岡 英美子	高澤 まさ子	梅澤 幸子	宇野 和江
高桑 幸雄	西村 晃三	大西 孝子	田中 政市	柴田 康行	安岡 英美子
和田 郁夫	大平 隆敏	永野 慶昭	村木 章子	小西 昇一	中西 幸一
小泉 善次	高畑 俊孝	安立 安子	内村 秀雄	樋村 良春	西 富三
越智 和子	梅澤 慈祥	原田 美智子	村中 宏子	松田 俊雄	奥谷 けい子
澤田 愛子	田中 英一	浅井 弘美	長谷川 敬次	堀川 喜芳	湊 修治
上野 實夫	坂本 健治	堀 尉和雄	渡辺 優	田島 昌恵	田中 昭光
寺下 良一	谷 順子	佐橋 泰子	鈴木 哲夫	廣瀬 久美子	山田 敏夫
神馬 澄子	久保 照子	石川 弘幸	能登 章介	中本 照子	田中 春美
坂本 一枝	伊藤 光雄	大原 尚武	南 キソ子	吉田 俊雄	逢坂 征子
大久保 春夫	村木 武	橋本 礼子	沼田 藤雄	曾我部 徳子	田島 京子
中村 洋子	小山 夕起子	小野寺 ユミ子	山田 欣作	米野 武子	遠藤 晃一
土手 利雄	斉藤 由紀子	渡辺 静江	遠藤 誠一	西山 政子	小嶋 裕子
中川 頼子	木村 昭子	結城 博三	白井 美智能	宮越 孝子	山本 光典
藤川 ツヤ子	川崎 一江	矢野 正樹	藤巻 久子	吉田 和則	高崎 彰
中井 秀夫	秋沢 佐代子	垣谷 昇	岡部 晴美	青山 寛志	武田 孝規
早坂 千春	真鍋 恒美	瀬川 勲保	上村 賢次	五十嵐 幸男	鳥羽 曙海
小田 幸晴	青木 清美	相場 弘之	山口 憲章	寺本 一美	田中 ちえ子
西野 康雄	高桑 修	高橋 眞智子	井口 春敏	芳賀 悦子	長谷 智行
佐々木 洋子	佐野 睦子	松永 順子	納村 一男	島 貴子	有働 正夫
加藤 昭男	伊東 幸次	加藤 正文	川中 妙子	渡邊 由美子	堀内 弘美
岡田 明	高柳 洋	荒井 信子	吉原 愛子	富田 弘美	加地 淑恵
林 光男	藤島 公子	渡邊 純	五十地 富子	鈴木 敏己	原 敏夫
佐藤 ヨシノ	沢田 邦一	菊池 実	造田 安廣	正田 誠弘	光富 真理
村上 輝子	内村 せつ子	明瀬 栄子	中山 美雪	五十川 美恵子	中川 辰雄
青木 朱美	川村 敏子	村中 輝實	久松 正則	渡辺 悦子	近喰 順二
小川 篤子	関 良一	吉田 直子	松浦 明美	眞鍋 文雄	尾中 良勝
平澤 妙子	西村 守	深澤 佳子	道上 聡	棚橋 寛子	坂本 恵子
山田 守	広瀬 利枝	高橋 敬子	佐野 瞳	佐藤 和男	

「地域支え合い体制づくり事業」ご案内

「成年後見制度」の相談を受け付けます！

認知症などにより判断能力が不十分になった方が、裁判所に申立（もうしたて）し、選任された「後見人」が本人に代わり様々な手続きを行う制度「成年後見制度」について、制度の内容などを相談できる窓口を下記のとおり行っています。相談は無料ですので、お気軽にご相談下さい。

- 相談日時 毎週金曜日 午前10時から正午まで（祝日はお休み）
- 相談場所 総合福祉センター・ボランティア室（深川市3条18番36号）
- 相談電話 22-6622（上記以外の曜日は、社会福祉協議会26-2411にお電話下さい）

「生活介護支援サポーター」になりませんか？

『生活介護支援サポーター』は、在宅の高齢者・障がい者の方に対して「通院や外出の付き添い」「お話し相手」などの活動を行います。活動を希望する方は「養成講座」を受講して頂いた後、「サポーター」として登録後、活動することができます。興味のある方は、まずはご一報下さい。

- 養成講座の内容
「ボランティア活動について」「高齢者等の理解」「福祉機器の使用方法」「コミュニケーションの技術」「体験実習」など。

「介護予防ふれあいサロン活動」団体も募集中！

地域住民の皆さんで、在宅で生活している高齢者等が気軽に集まり、ふれあいを通した「居場所（サロン）」を作ります。

- 運営 町内会などの小地域で作る団体（10人以上）が運営します。
- 要件 月1回・2時間以上の開催を目標とします。
- 支援 サロン推進組織として助成決定した団体には、サロン運営の支援、助成金の支給、活動物品の貸し出し、研修会への案内などを行います。

[総合福祉センター通信]



社会貢献活動
『幸せの黄色いレシートキャンペーン』

イオングループ北海道
より真心を頂きました

マックスバリュな
どを経営する「イオ
ングループ」より社
会貢献活動『幸せの
黄色いレシートキャ
ンペーン』として、
子ども向けの玩具な
どを購入できるギフ
トカード（五万五千
二百円相当分）を頂
きました。
この活動は、毎月
十一日の「イオン・
デー」に発行される
黄色いレシートを、
店内の投函箱に入れ
ると、レシート一年
分の1%相当額が、
活動に登録している
団体に寄付されると
いうものです。今回
頂いたギフトカード
で玩具などを購入し
ますので、児童セン
ターに遊びに来てく
ださい。お待ちして
います。

「総合福祉センター」とは。

「深川市総合福祉センター」は、深川市役所の東隣にあるレンガ色の壁の建物です。この「総合福祉センター」は、「老人福祉センター」「児童センター」「働く婦人の家」の三館の施設からなる複合施設です。三館の利用対象・開館時間など詳細は次の通りです。

「老人福祉センター」

〈利用対象〉60歳以上の市民。〈開館時間〉午前9時から午後5時まで。

「児童センター」

〈利用対象〉市内に住む3歳から18歳までの児童・生徒。なお、未就学児は保護者同伴。

〈開館時間〉午前9時から午後5時まで。

「働く婦人の家」

〈利用対象〉市内に住む婦人・市内の事業所に勤務する婦人。

〈開館時間〉午前9時から午後9時まで。

なお、この他にも「講座」や「行事」も開催していますので、ご利用についてのお問い合わせは、社会福祉協議会（電話26-2411）までご連絡下さい。

[ボランティア通信]

万が一に備えて「ボランティア活動保険」

ボランティア活動中の事故などにより、活動される方のケガの補償などに対応する保険として「ボランティア活動保険」があります。これは全国社会福祉協議会が一括して損害保険会社と締結している保険です。お問い合わせは、深川市ボランティアセンター（社会福祉協議会 26-2411）までご連絡下さい。

【ご加入いただける方】

○ボランティアセンターに登録しているボランティアもしくは団体。

【保険の補償を受けられる方・ご加入者】

- 「ケガの補償」ボランティア個人
- 「賠償責任の補償」ボランティア個人、ボランティア監督義務者（ボランティアが未成年者の場合）

【対象となるボランティア活動】

○国内で行われる「自発的な意志により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」。なお、対象とならない活動もありますのでご確認ください。

【補償期間】

○令和2年4月1日から令和3年3月31日まで。年度途中で加入の場合は、加入申込み手続き完了の翌日から補償期間となります。

【保険料（1名あたり）】

○基本タイプ Aプラン：350円 Bプラン：510円

○天災タイプ（基本タイプ+地震・噴火・津波）

Aプラン：500円 Bプラン：710円

※加入するプランにより補償金額が変わります。

深川市ボランティアセンターではボランティアをしたい・ボランティアに関心のあるという方からの連絡をお待ちしております。また、こんな活動をしています、というボランティア情報も随時募集しています。

ご連絡はこちらまで。

深川市ボランティアセンター

（社会福祉協議会 内）

住 所：深川市3条18番36号

総合福祉センター 内

電 話：26-2411

FAX：22-1443

メールアドレス：

fukashakyo@opal.ocn.ne.jp

新型コロナウイルス感染症により、日常生活にも影響が出た。令和2年も早くも半年が過ぎました。様々な活動に「自粛」を余儀なくされた期間でした。そんな中でも、様々嬉しいことを見聞きした日々でもありました。

「サロンが開催できないため、高齢者に地域ぐるみで声掛けをしていない」「今までボランティアで声掛けをしていた」「ボランティアのマスクを届けてくれた人」など、心から「有難い」と感じるお話をたくさん聞きました。

「方々に支えられて地域がある」と、改めて実感する機会となりました。

「んだな」と、改めまして。